

特集：農業と向き合う。

福島の
食の安全は
どうなるの？

あなたも生産者さんと向き合うイベントに参加しませんか？



福島の旬を丸ごと味わう大交流

ふくしまオーガニックフェスタ2013

— 子どもたちの未来と食と農の再生のために —



県内の生産・流通団体が進めている放射性物質低減の取り組みや放射能測定検査の状況を紹介。消費者のみなさんに福島の農業の現状をより深く知って頂けるイベントです。自然との共生と子どもたちの命と健康を守るために取り組んできた有機農業生産者の取り組みをお伝えします。生産者と消費者の顔と顔の見える交流を通じ、子どもたちの未来と食と農の再生のため、共に力を合わせましょう！

「放射能とくらしを考える」シンポジウム、農業者と大学研究者の放射能低減対策と復興パネル展示、シェフによる地産地消の飲食コーナーとコミュニティカフェ、復興ライブとイベントコーナー等、ご家族、お友達お誘い合わせの上で参加ください。



喜多方市山都町の米農家さんの渡部よしのさん

日時：2013年11月23日(土) 10:00～16:00

場所：ビッグパレットビッグパレットふくしま(多目的ホールB・屋内と屋外展示場)

主催：ふくしまオーガニックフェスタ2013実行委員会・福島県生活協同組合連合会(福島県「消費者と生産者等の理解・交流 促進事業」受託事業者)

お問い合わせ：ふくしまオーガニックフェスタ2013実行委員会

〒964-0991 福島県二本松市中町376-1(福島県有機農業ネットワーク気付)

TEL: 0243-24-1795 FAX: 0243-24-1796 MAIL: fes@farm-n.jp



地域の人々と直接交流で福島の抱える現状や課題、そして将来について考えるツアー

「スタ☆ふく」プロジェクト



福島大学の有志の学生さんが立ち上げ、2012年4月から活動を開始。水産漁業ツアー(いわき市)、観光ツアー(喜多方市)、農業ツアー(二本松市)など、これまでも大学生を中心に県内外からの参加者に福島の現状を肌で感じてもらうツアーの企画・運営を行ってきました。実際の現場の視察、地元の人たちの話や交流会を通じ、「実際に見聞きして、噂と現状の違いを感じた。」「福島のことは日本のこと。」「改めて、何をしようか、何ができるか考えさせられました。」と自分たちにできることを更に深く考えるきっかけを与えてくれるツアーです。

次回は10月26、27日に南相馬でのツアーを開催します。

ツアー詳細情報はホームページでご確認下さい。

<http://sutahukujimdo.com/>

ドキュメンタリー映画

『天に栄える村』

10/19(土)より、福島市で公開



豊かな里山にかこまれ、国内でも指折りの米を生産してきた福島県天栄村の農家たち。なかでも「天栄米栽培研究会」は、日本一の米づくりを目指し耕作放棄田の再生などを試みながら、米の全国コンクールで4年連続金賞を受賞。2011年3月の原発事故以降は科学的な調査をもとに、さらなる安全で美味しい米づくりの道を模索しはじめました。映画は「それでもこの地で農業を続ける」という、農家の人々の挑戦と苦闘を4年にわたり追っています。(2013年/106分/HD)

語り：余貴美子 撮影協力：天栄米栽培研究会

監督：原村政樹 助成：文化芸術振興費補助金

公式サイト <http://www.sakuraeiga.com/tensaka/>

日時：2013年10月19日(土)～11月1日(金) 連日10:00～、14:30～上映

場所：フォーラム福島(福島市菅根町6-4 電話:024-533-1717) ※初日、監督挨拶あり